

平成27年4月15日

関係各位

船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 徳 永 啓 介

平成26年度改善方策に対する改善結果

1. 学校全体にかかわる広報活動の充実

【改善方策】

- (1) 「ホームページ」や「学校便り」等を通して、学校全体に関わる広報活動をより充実させる。
- (2) ホームページの認知度を高めるため、「校外学習での進行状況」、「学校行事の様子」、「学年行事の様子」「生徒の部活動や地域での活躍」、「学び舎での取り組み」等をホームページに発信していく。また、「大規模地震発生時の下校方法」等、特に周知が必要な配布物は通年でホームページのトップページに掲載する。
- (3) 保護者会、PTA運営委員会、学校協議会等でホームページのPRを行う。

【改善結果】

保護者アンケートでは、「学校からの通信に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている」の肯定的評価は90%（昨年度86%）、「本校は、保護者に対し、ていねいに説明や対応をしている」は91%（昨年度80%）、(3)「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる」は83%（昨年度77%）、「本校のホームページは、わかりやすい内容になっている」の肯定的評価は68%（昨年度55%）、「分からない」が19%（昨年度31%）であり、前年度より大幅に改善されていることが確認できた。「学年だより」を毎週発行していることにより、学校での子どもたちの様子など様々な情報が多く発信されていることが、高く評価されており、今後も、より丁寧な説明を心掛けていきたい。また、ホームページには、「校外学習での進行状況」をリアルタイムに発信し、好評を得ている。今後も、保護者・地域に対する学校の情報発信ツールとして、ホームページの一層の充実を図っていく。

2. 進路指導における情報提供の改善

【改善方策】

「キャリア教育」の授業は、道徳、特別活動などでも実施されていることを、保護者会、進路説明会を通して周知するとともに、「職業講話」、「職場体験」、「都立高校による訪問授業」等のキャリア教育に関する学習の実施状況を、学年便り、ホームページ等を通して広報していく。

【改善結果】

保護者アンケートでは、「本校は、子どもに将来の生き方や進路について考えさせる指導が充実している」の肯定的評価が60%（昨年度54%）、否定的評価が21%（昨年度23%）、「本校は、進路について十分な情報提供がされている」の肯定的評価が57%（昨年度47%）、否定的評価が26%（昨年度29%）、「本校は、進路について保護者が相談する機会が提供されている」の肯定的評価が64%（昨年度59%）、否定的評価が19%（昨年度21%）、「本校の教員は、親身になって進路の相談にのっている」の肯定的評価が54%（昨年度45%）、否定的評価が16%（昨年度22%）という結果であり、昨年度より4項目とも、肯定的評価の割合が増え、否定的評価、「分からない」の割合が減り、改善されていることが確認できた。

しかし、生徒アンケートでは、「将来の生き方や進路について考えさせる授業がある」の肯定的評価が69%（1年52%、2年78%、3年79%、昨年度70%）、否定的評価が24%（昨年度20%）、「将来の生き方や進路について先生と相談する機会が十分ある」の肯定的評価が47%（1年25%、2年44%、3年73%、昨年度53%）、「進路に関する情報が十分提供されている」の肯定的評価が54%（1年28%、2年54%、3年80%、昨年度60%）、否定的評価が34%（昨年度26%）という結果であった。進路指導については、毎年、学年別の結果に大きな差異が見られる。なお一層の改善方策の実施が必要である。

3. 地域関係者への配布先の見直しと回答数の向上

【改善方策】

地域関係者の配布先については、学校運営委員会でも検討し、適切な配布先を決めデータの比較が可能な状況にする。回答数の向上については、無記名調査のため、未提出者の確認ができないことが課題であるが、次のようなPR活動を行い、回収率を向上させる。

- ① 地域関係者については、学校公開期間、学校行事、学校協議会等で来校した際に、個別に声をかけて回収率を高めていく。
- ② 保護者については、提出締め切りを学芸発表会後に設定し、ホームページ、学年便り、PTA運営委員会等を活用し周知していく。

【改善結果】

アンケート回収率は、保護者が71.0%（昨年度64.7%）、地域が55.8%（昨年度40.0%）であり、前年度より大幅に回収率は向上した。地域へのアンケート配布先についてもデータの比較が可能な状況にした。今後も回収率を高める努力をしていく。